学校番号	1101

令和八年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界遺産研究Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	きほんを学ぶ世界遺産 100　世界遺産検定３級公式テキスト（ＮＰＯ法人世界遺産アカデミー）						
副教材等	世界遺産検定公式問題集３・４級　2026 年度版（ＮＰＯ法人世界遺産アカデミー）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・定期テストに加え、小テストを単元ごとに行い、成績に反映させるとともに、授業の進度をはかる一助とする。
・検定試験の結果については、教科内で定めた基準により、成績に反映させる。
・各世界遺産の紹介スライド課題は、Chromebook を利用して作成する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日本と世界遺産の基礎知識や価値を学び、世界各国の歴史や地理、文化や生活、産業などを多角的に理解し、世界遺産検定３級と同等の力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
他科目で修得した知識と結び付けながら世界遺産の重要性を多面的・多角的に考察し議論できる力を身につけ、多文化理解を進める。
【学びに向かう力、人間性等】
世界遺産への興味関心を高め、その意義や背景にある歴史や文化について、主体的に追究する態度を養い、自然や文化を保護することの大切さを自覚する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・世界遺産検定３級と同等の知識を身につけている。 ・資料や情報を効果的に調べ、まとめている。	・自ら設定したテーマに取り組み、発表や討論などで自己の考えを表現している。 ・身につけた知識や概念を活用して、世界遺産に関する事象の意味や意義を、多面的・多角的に考察できている。	・海外の世界遺産について、その意義や背景にある歴史や文化について調べ、異文化理解を主体的に進めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	海外の世界遺産	海外の代表的な世界遺産について、特徴や歴史を学び、基礎的な知識を得る。 関連する動画を視聴し、理解を深める。 ワークブックに取り組み、学習内容を主体的に整理・理解し、検定試験に向けての対策を行う。	a: 各遺産の特徴について、正しく理解し、設問に答えることができている。 b: 各遺産の意義について、地理的・歴史的背景を踏まえた上で、正しく説明できている。 c: 学ぶ中で生じた新たな疑問を言語化し、主体的に探究しようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 小テスト 「要約」課題	授業態度 ワークブック 授業メモ 「新たな問い」課題
	基礎知識・日本の世界遺産	世界遺産の意義や分類、日本の世界遺産の概要を復習し、検定試験に向けての対策を行う。	A: 検定の頻出事項について正しく理解している。 b: 思考力を問う設問に対して多角的に考察し、適切に選択している。 c: テキストや視聴覚教材から要点を主体的に読み取ろうとしている。	定期テスト 小テスト 検定試験の結果	定期テスト 小テスト 検定試験の結果	授業態度 模擬試験 四択クイズ
後期	スライド作成	今後の受検者向けに、各遺産の重要ポイントをまとめたスライドを作成する。	a: 各遺産の意義を正しく説明している。 b: 内容を精選し、理解しやすく工夫して表現している。 c: 主体的に調べ、オリジナルな作品づくりをしている。	スライド	スライド	スライド
	四択クイズ	正答率の的中度を競い合う四択クイズの作成を通じて、これまでに学習した内容を主体的に整理し表現する。	A: 各遺産の要点を正しく説明している。 b: 知識だけでなく思考力が必要な問題を作成している。 c: 内容を工夫して、取り組みの意欲を高めている。	四択クイズ作成	四択クイズ作成	四択クイズ作成

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度